

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協

夏号

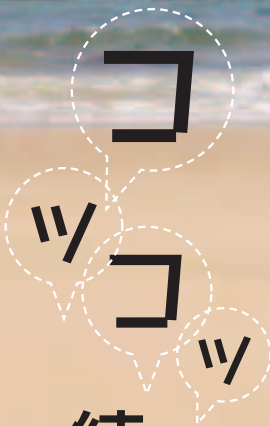
Shizuoka Rofukukyo Dayori
Summer 2012

だより

(一社)静岡県労働者福祉協議会



2012
国際協同組合年



続いていきます

県労福協 第50回 定期総会を開催

ALWFロッキーセンターオープン!

東日本大震災 静岡県災害ボランティアに参加して
(公財)静岡県労働者福祉基金協会からのお知らせ

今年も感動をありがとう

静岡県勤労者総合美術展

新企画

事業団体職員・労福協役員へ贈る

自主福祉運動の歩み

新企画

地区労福協三役の
23地区リレートーク

人物登場



一般社団法人

静岡県労福協 第50回 定期総会を開催

メインスローガン

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくるう!!

サブスローガン

- 「国際協同組合年」にあたり、連帯経済を担う協同組合の支援を更に強めよう!
- 東日本大震災の被災者を支援し、復興・再生に向けた「連帯・協同」の和を広げよう!
- 地域に根ざした顔の見える自主福祉運動を推進しよう!

総会の様子



6月12日(火)、静岡県労働者福祉協議会第50回定期総会が開催されました。会場の静岡クーポール会館には来賓4名、代議員35名、オブザーバーなど総勢109名の参加をいただき、2012年度活動方針案や役員改選案などの議案はすべて満場一致で承認されました。

今回の総会は、静岡県労働者福祉協議会(県労福協)が法人化(一般社団法人)となり初めて迎える役員改選期の総会となりました。新たな役員には吉岡理事長をはじめ、14名の理事・監事が選任されました。また、幹事では地区労福協の7名が交代となりました。

2011年度活動報告では県労福協報告の後、袋井の高橋会長と北駿の松永会長より地区労福協の活動報告をいただきました。2012年度活動方針では、「東日本大震災」への復興支援の継続、2012国際協同組合年の積極的な取組み、地域役立資金の活用などを掲げました。また、労福協活動は380万人の県民、160万人の勤労者を対象とした運動であり、労働組合、事業団体、行政、NPO、ボランティア団体などの連携強化などを再確認しています。

審議の中では、戸倉代議員より「議案書にある労福協のMission(社会的運動と政策制度の実現、勤労者の生活支援、労働者自主福祉事業の育成)を常に中心軸に活動されたい」との補強意見や桐下オブザーバーからは災害ボランティアの活動や寄り添いホットラインに関する質問がありました。

審議終了後、選任された吉岡秀規新理事長が「人の前に立つものとして恥ずかしい後姿でありたいと常に思っている。不慣れですが皆さんと共に歩んでいきたい」と挨拶がありました。



平野理事長の
総会冒頭挨拶(要旨)

①国民幸福度調査の結果、日本は36か国中21位、週50時間以上働く人がいる一方で、職が無かったり、職があっても非正規就労者が就労者の1/3以上になっている。また、生活保護不正受給がバッシングされているが、生活保護を受けたくても受給できていない人が大勢いる事の方が深刻な問題だ。

②国の相談事業「寄り添いホットライン」が始まった。5月集計によれば全国で57万件の着信があり、3.6万件を受電。相談者は心、人間関係、仕事などの様々な悩みを抱えている。

③地域役立資金による拠点整備を進めているが、地域未組織勤労者に目を向けた活動の拠点として活用し、更に次世代の役立資金に繋げてゆきたい。

④今年は国連が定めた国際協同組合年。まさに助け合い・共助が労福協活動の原点です。苦しい今だからこそ、助け合い、力を出し合い諸課題に取り組みたい。

私たちはどこへ
行こうと
しているのか



代表理事
吉岡秀規 理事長

大きな変化が目の前に生じると、人はそれを脅威と感じ、バリアを張ろうとします。そういう組織は世の中の変化についていけずに衰退していきます。

ひとりひとりの個人にも「物語」があるように、組織にも「組織の物語」があります。私たちの「静岡県労働者福祉協議会」の物語とはなんでしょうか。前任の平野理事長の意思をしっかりと引き継ぎ、自分たちが描いた物語をどう生きるのか、そのゆるぎない物語をみなさんと共有していきたいと思えます。

新米の理事長ですが、ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

司会



佐竹
副理事長

議長



片山氏

来賓



県産業部就業支援局
望月局長



連合静岡
吉岡会長



県司法書士会
杉山副会長



県ボランティア協会
鳥羽事務局長

発言



戸倉氏



桐下氏

議案提案



金指専務理事

閉会挨拶



加藤
副理事長

地区報告



袋井
高橋会長



北駿
松永会長



新役員メンバー

新任の幹事(敬称略)		
氏名	選出母体	
一柳 浩	三島地区	
渡邊 弘勝	富士地区	
岩崎 真孝	清水地区	
中村 洋	藤枝地区	
相羽 迅人	磐田地区	
中馬 義一	浜北・天竜・北遠地区	
河邊 洋充	湖西地区	



退任挨拶の(左から)
平野氏、天野氏、河邊氏、河原氏

2012~2013年度 理事会役員

一般社団法人 静岡県労働者福祉協議会

役職	氏名	選出母体
理事長	よしおか ひでき 吉岡 秀規	連合静岡
副理事長	いけとみ あきら 池富 彰	連合静岡
副理事長	かとう ゆきひろ 加藤 幸博	県労働金庫
副理事長	さたけ いさお 佐竹 功	全労済県本部
副理事長	なかがわ あさゆき 中川 浅行	県生協連
専務理事	かねざし あつし 金指 敦之	県労福協
理事	きのした たつお 木下 達夫	福祉基金協会
理事	こづか しんご 小塚 則久	県勤信協
理事	とよだ しんご 豊田 慎吾	沼津地域
理事	いのうえ あきひこ 井上 明彦	静岡地域
理事	ふるかわ まさあき 古川 正明	西遠地域
監事	もりもと たてお 森本 建夫	富士地域
監事	しまむら まさひろ 島村 昌宏	志太・榛原地域
監事	とりい つとむ 鳥居 勤	中東・遠地域

年金福祉協会は 4月より一般財団法人へ



セミナー風景

※新しい専務理事には、
6月22日付で
新出繁博氏が就任しました。



事務所の様子

財団法人として昭和54年4月に設立し、年金積立金を原資とした住宅資金貸付事業や年金相談事業を実施してきたところであります。この間、新規貸付事業の廃止や金融機関の個人融資への転換等により、全国の年金福祉協会が住宅債権の譲渡により次々と解散する中、静岡は役員の皆様方のご理解とご協力と、根性で存続してきました。そしてこの度の公益法人制度改革により、一般財団法人への移行認可を受け、平成24年4月1日に法人の名称が「一般財団法人静岡県年金福祉協会」に変わり新たにスタートすることとなりました。

名称は変わりましたが、一般財団法人として認

可を受けた継続事業である住宅債権の回収事業、年金セミナー事業は何ら変わらなく、今後も厚生年金被保険者等の福祉向上に寄与するため引き続き役員皆様方のご協力を得、職員4名少数精鋭のスタッフ一丸となって業務に精励いたして行くこととしています。

最後に私事ですが、私もこの大きな仕事を終え一区切り着いたところで去る6月23日付けをもってお役目御免となりました。年金協会生活11年間、良くも悪くも得た物は非常に大きかった、感謝・感謝です。今後とも後任や職員をどうぞよろしく願っています。

(元、県年金福祉協会専務理事 竹山 貢)

■ロッキーカレッジとは

「地域役立資金」を活用して、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会ライフサポートセンターしずおか事業部が中心となり、「まなぶ・つながる・発信する」をコンセプトに、世代や立場、組織の枠を超えて学び交流する中から、生きがい・仲間づくりを目指した各種講座を開催します。



■ロッキーカレッジの講座

公開講座 既存講座とNPO等と連携した新設講座を開催します。

子育て、青少年育成、ボランティア、生きがいづくり、など、勤労者のニーズに柔軟に対応した講座を予定しています。

自由講座 皆さん自身が自主的に講座を企画・運営することができる講座です。

ロッキーカレッジの基本コンセプト・ミッションに沿い、公益性を有すると判断された講座に対して、講座開催場所の提供 (ALWF ロッキーセンター) 等の支援を行います。

※7月～11月に開催予定の公開講座については、
本誌7・8ページの広報をご覧ください。

■問合せ先
会議室の利用申込やお問い合わせは
以下へお願いします。



公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会 ALWFロッキーセンター

静岡市葵区黒金町5-1 054-273-3000
静岡県労働者総合会館 3階



ALWF ロッキーセンター



ALWF ロッキーセンター オープン!

2012年4月2日、静岡県労働者総合会館3階に、「ALWFロッキーセンター」をオープンしました。ロッキーカレッジ等に活用する大小会議室・交流フロアや、暮らし全般に関わる相談機能等を備えた「自主福祉運動の県内中心拠点」として、勤労者福祉だけに留まらない幅広い社会福祉運動の展開に活用していきます。



開所式



交流フロア

■愛称について

静岡ろくぎんの会員の総意により、特別利用配当金から振替拠出いただいた資金を活用し、(公財)静岡県労働者福祉基金協会が運営していくことから、愛称を「ALWF (アルーフ) ロッキーセンター」としました。

(※ALWF: Association of Laborers' Welfare Fund of Shizuoka Prefecture)

■会議室としての機能

利用の要件

- ①ロッキーカレッジ講座の開催
- ②福祉事業団体、NPO、労組、生協など勤労者の福祉向上を目的とする団体のセミナーやイベントの開催
- ③関連団体(福祉事業団体、労組など)の公益目的の利用

会議室設備

- ①大会議室(120名)
大型スクリーン、プロジェクター、ワイヤレスマイク等
※パーティションにて中会議室、2部屋に区分可能
 - ②小会議室(24名)
ポータブルワイヤレスマイク等
- ※利用料金・予約方法・利用可能日時間など、具体的内容については、現在福祉基金協会にて検討中です。
(9月末迄の試用期間中のご利用を希望される会員団体は、お問い合わせください。)

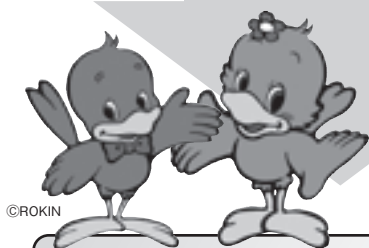


大会議室



小会議室

「県労福協 教育ローン 利子補給制度」 取扱いスタート



©ROKIN

2012年4月1日より「県労福協教育ローン利子補給制度」の取扱いがスタートしました。本制度は、〈静岡ろうきん〉の教育ローン『役立宣言』をご利用いただく方のうち、対象要件を満たす方に対し、県労福協が利子補給を行なう制度です。

本制度は、〈静岡ろうきん〉の会員の皆さまに拠出いただき創設された「地域役立資金」を活用して、経済的事実等があると認められる世帯への支援を主な目的として実施される制度であり、最大で年利2%の利子補給が受けられます。

制度の詳しい内容につきましては、県労福協もしくは〈静岡ろうきん〉までお問い合わせください。

※諸条件によりお客様のご希望にそえない場合もございます。

※教育ローンのお申し込みと利子補給制度の申請は〈静岡ろうきん〉が窓口となります。

ビボパ de ろうきん 携帯電話からでもOK!

フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123

インターネットホームページ
<http://shizuoka.rokin.or.jp>

災害ボランティア活動

静岡県労福協は連合静岡等と連携し、県ボランティア協会で実施している、災害ボランティア活動に参加しています。今年は4月19~23日の第1次隊よりスタートし、月1~2回の隊に毎回5名程度が参加。「少しでも被災者の皆さんの力になろう!!」との思いで参加をいただいています。



volunteer

なり、ストレスが溜まっています。

また、仕事を失った方々は運動不足のため太り気味になった方が保健師さんに健康チェックを受けていました。仕事はいつ再開できるかわかりません。仮設住宅での暮らしから元の暮らしに近づくまでにあとどれだけの何をすればいいのでしょうか？まだまだ復興までに時間がかかることがよく分りました。

ボランティア拠点の岩手県遠野市から被災地の大槌町や釜石までのバスからは、瓦礫の山をいくつも見ました。この瓦礫が片付かなければ新しい建物はできません。海も少し時化ると漂流物が沢山あがるほど汚れています。海をきれいにしなければ漁業はできません。

復興の要になる人材も被災によって減っています。現場を見て、まだまだ私たちにはやらなければならいことがあると痛感しました。被災地の製品を購入したり瓦礫の処理に協力するなど間接的な支援を含め、一人ひとりができることをする、その積み重ねが被災地の復興の大きな手助けになると感じました。今回のボランティアで貴重な体験をさせていただきました。参加できたことに心から感謝するとともに、一日も早い復興を願ってやみません。

村松佐知子(連合メイト)

東日本大震災 静岡県災害ボランティアに 参加して



震災から1年数か月が経った今も、震災のニュースを聞かない日はありません。募金や救済物資などを送ったことはありませんが、報道を見るたびに私にできることはないか？という心はどこかで想っていました。そんな折に連合静岡の吉岡会長さんのブログを拝見したことがキッカケで、このボランティアに参加させていただきました。

今回は、5月10日(木)夜に出発して5月14日(月)早朝に静岡に戻るスケジュールでした。私には仕事と家

庭がありましたが、この程度の日数なら何とかやりくりができると思います、勇気を出して申し込んでみたのです。オリエンテーションで約30名が集まりましたが、既に5~6回目の参加の方もありました。私は初参加のうえ、一人で申し込んだので皆さんと上手くやっていけるかちょっと不安もありましたが、思いやりのある優しい方々ばかりで、直ぐに何でも話ができて仲間になりました。

主な活動内容は仮設住宅の方々との交流、被災地の海岸清掃、土嚢づくり、瓦礫の分別、花壇づくりなどでした。

被災地を実際に訪れて真つ先に目にしたのは、巨大津波ですべてが流された広大な更地でした。かつては商店等が立ち並び、多くの人々が生活していた町並みすべてが跡形もなく消えてしまったのです。それは震災直後から何度も見たニュース映像と重なって、しばらく言葉が発することができないほどの衝撃でした。また、ようやく集められた瓦礫の膨大な量にも驚かされました。

仮設住宅に暮らす方々との交流や作業を続けていくうちに、被災地の様々な課題や皆さんの悲しみや苦痛も感じられました。津波で家も家族も仕事も失った人々が突然、集合住宅での暮らしになり、子供たちは大きな声を出して走り回ることができる遊び場所を失いました。仮設住宅では大きな声を出すこととみんなの迷惑になるのです。大人の目が行き届く遊び場所が狭いため、走り回ることも限られます。子供たちは自由にはしゃぐこともできなくなりました。

若い母親は今まで面倒を見てもらっていた親を亡くしたり、住まいが離れて子供の面倒をみてもらえなく

●ライフサポートセンターしずおか事業部より

ロッキーカレッジ 開催しました

♪ **支える人のケア** ♪ (5/27、江崎ホール：静岡市)

このセミナーは、身近な人の病や介護等で悩みを抱えたり、疲れを感じている“支える側”の人が少しでも元気になれるよう企画したもの。第1部、聖隷クリストファー大学 杉山せつ子先生による『ここからだを元気にするセルフケア』では、自分で自分をケアする大切さや、自律神経コントロールに効果のある呼吸法をご紹介いただき(下記)、第2部は、稲木良光とロイヤルジャパンアンサンブルによる『生演奏で癒しの時間』、クラシックなどの名曲が奏でられました。

リラックスのしかた(呼吸法)

息を口から細くゆっくり吐く。肺のものを全て出きったところで鼻から吸う。
これを何度か繰り返すと、①体がリラックスする②緊張がほぐれる③からだがあたたかくなる④おなかの調子よくなるのだとか。



セカンドライフを応援する連続講座 ～今からはじめる老い支度～

第1弾 自然体で人生を楽しむ (6/1、沼津労政会館)



フリーアナウンサーの遠藤泰子さんをお招きしてのセミナー。お話は、遠藤さんが日常の中で体験した諸々のエピソードに始まり、会場はすぐに爆笑の渦、徐々に遠藤さんの世界に引き込まれていきました。プロのアナウンサーだけあり、とても聞きやすく、テンポよく進むお話に、目を閉じて聴き入るお客様もいらっしゃいました。また、アナウンサーとしての長い経験で見聞きした事柄や、ご自身の人生、生き方などについて触られました。

このセミナーでは、各分野で活躍中の3名から、人生を豊かにするためのヒントをお話いただく楽しくためになるセミナーです。引き続き、静岡と浜松で開催しますので、是非お申込み下さい。



日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。
お気軽にご利用下さい。

★暮らし何でも相談

消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。

★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)

★相談は原則無料

★県内5箇所のセンターで相談に応じます

相談ダイヤル
受付は平日
9:00～17:00

東部：055-922-3715 西部：053-461-3715
中部：054-273-3715 中東遠：0538-33-3715
しだはいばら：054-646-6055

●セカンドライフを応援する連続講座 ～今からはじめる老い支度～

1

自然体で人生を楽しむ

遠藤泰子さん

フリーアナウンサー。東京放送(TBS)を経てフリー。テレビでは「3時にあいましよう」「世界音楽祭」等の司会、ラジオでは数々の番組司会パーソナリティをつとめ、現在TBSラジオ「永六輔の誰かどこかで」「森本毅郎スタンバイ」に出演中。他講演会や研修、ナレーション、朗読等で活躍。著書「あったかい言葉で話したい」「聞く力をつける55の方法」。

2

金持ちより心持ち 大往生の条件とは？

～信州の赤ひげ先生が痛快に語る！～ 色平哲郎さん

内科医(JA長野厚生連 佐久総合病院地域医療部 地域ケア科医長)、NPO「佐久地域国際連帯市民の会」事務局長。佐久総合病院に入り、元南相木村診療所長を経て現職。外国人HIV感染者・発症者への「医職住」の生活支援、帰国支援を行うNPOの事務局長として活躍、95年、タイ政府より表彰。著書「大往生の条件」。

3

自分らしく、納得できる葬送とは？

二村祐輔さん

日本葬祭アカデミー教務研究室主催。(有)セビア代表取締役、都内葬儀社に約18年勤務後、葬儀コンサルタントとして独立。「自分らしい逝き方」「家族のための現代葬儀大辞典」など、著書も多数。



～今からはじめる老い支度～ 開催スケジュール

静岡労政会館 ①10/5(金)②10/20(土)③10/25(木)

浜松労政会館 ①11/6(火)②11/18(日)③11/23(金・祝日)

各会場共通：時間 13:00～15:00 定員：各回80名 参加費：各回500円

申し込み：生活協同組合コープしずおか 0120-71-8107 0120-878-940(平日9:00～17:00)

●脳いきいき講座 なぜなる?どうする?認知症!

認知症の仕組みを学んで、ならないさせない生活習慣を身につけませんか?

『脳いきいき度・セルフチェック体験』は、仮名ひろいテストで、現在の脳の状態を知ることができます。

①2012/7/29(日)：磐田市豊岡支所3階会議室 先着60名(講演+テストあり)

②2012/8/18(土)：清水町福祉センター 先着70名(講演のみ、テストはありません。)

③2012/8/26(日)：みをつくし文化センター(浜松市北区)先着60名(講演+テストあり)

*時間 13:30～16:00、要事前予約、参加費無料

申し込み・
問い合わせ

①：ライフサポートセンターしずおか西部 053-466-6307(平日9:00～17:00)

②：ライフサポートセンターしずおか東部 055-929-9820(同上)

③：地域茶の間『てまえみそ』053-475-1516(月～水・金10:00～17:00・土午前)

無料法律 相談会



この相談会は、静岡大学法科大学院との共催で、将来法曹をめざす大学院生の実務技能教育を通じた社会貢献活動の一環として開催しております。ご相談には弁護士が応じ、約1時間お話を伺います。9/13(木)松崎町で予定しておりますので、詳細が決まりましたら、ホームページでご案内いたします。

お知らせ

4/1より(公財)静岡県労働者福祉基金協会は、
ライフサポートセンターしずおかと一体化しました。

ホームページアドレスは

ライフサポートセンターしずおか

検索

モリ ヒロユキ
森 広之さん
沼津地区労福協事務局長

出身組織：明電T&D労働組合
役職名：執行委員長
①趣味：フットサル、ランニング、
(最近)バレーボール
②モットー：物事を前向きに考える
③最近感動したこと：町内バレーボール
大会で自分の区が3位になったこと
④最近失敗したこと：そのバレーボール
大会の大事な場面でサーブをミスしたこと



みなさん、こんにちは。沼津地区労福協事務局長に就任して早くも3年が過ぎ4年目に突入した、森と申します。

組合経験としては12年になりますが、この間色々なことがありました。実はこの12年で3つの組合を経験しているんです。

…と言いますのも、会社の合併と解散があったからなのですが、01年7月に3社のある部門同士が合併、1つの会社が出来、02年10月組合員の転籍と同時に新労働組合が出来ました。そこから暫くは3社の労働条件の統一から始まり、3つの組合費徴収基準を始めとする組合規約規程の統一に汗を流しました。やがて組合員も慣れ、やっと落ち着いてきたと思っていたこの12年3月、今度はその会社が解散し、4月にまた新たに労働組合を立ち上げて今日に至るといった感じです。

さて、このままではページが余り過ぎてしまいますので、ここから先は私の中でコツコツ続いている2つの事柄について紹介します。

1つ目は、フットサルです。月に2回程のペースで町営のフットサルコートを予約して会社のメンバーを中心に「体動かしたい人集まれ！」みたいな感じで連絡し、集まったメンバーで楽しんでいます。

きっかけは、会社の後輩と同期対決で今度フットサルでもやろうよ。と5人ずつ集めて試合をした



のが始まりです。それが、98年のことなので気付けばそれから14年、月2回のペースでコツコツ続いています。

みなさんの中でも体を動かしたい方はぜひ一緒にやりましょう。組合を通じて知り合った方もたくさん来て頂いていますよ。

2つ目は、ランニングです。これは、07年にある方から町の駅伝大会に出ようよ。と誘われたのがきっかけです。

駅伝なのでチームに迷惑かけてはいけないと思い少し練習を始めました。その後、大会は終わりましたが、せっかく始めたからと時間が有ればと、今でもランニングはコツコツ続いています。ランニング中は色々なことを考えられ頭の整理整頓をすることが出来るので、とても好きな時間です。体にも良いですね…。

組合の活動もそうですが、労福協の活動も同じで、終わりというものがない、そんな風に思っています。

今後とも、是非よろしくお願い致します。

静岡県労福協の歩みをふり返って

藤田 克己
(元、県評事務局長)

『労働者である以上、労働組合が労働条件向上のバック・ボーンであることぐらい、だれでも知っている。だが、福祉・保障の問題となると総評や全労等でも中央段階で理解が進んでいないのではなからうか』一九六〇年代の「社会保障と労働者福祉」(三一新書)にある一文である。

静岡県労働者福祉協議会(静岡県労福協)が平成二六年には五十周年を迎える今日、改めてその歩みをふり返ってみたい。

前身、静岡県福祉対策協議会(福対協)の設置(一九五三年十一月)

労働金庫の設立を受け福対協準備会は、片倉工業と契約して通勤用自転車(シルクSS号)の斡旋事業を開始した。この斡旋事業の特徴は、組合員が

指定業者から購入した自転車代金を、労働組合が一括して労働金庫から借入れして福対協口座に振り込み、福対協は業者に支払う。その上で組合員は分割で労働組合に返済する。つまり、労働金庫の融資を有効に活用して、業者には現金一括、組合員は月賦払いという方法をとったところである。

当時は、生活物資が欠乏しており、消費生活の面で苦しむ組合員には、低廉でしかも月賦で購入できることが好評を呼んだ。

一時は、労金の融資総額の四〇%が物資斡旋代金の借入れで占められる状態も見られるほどに大きな業績をあげた一方、合理化や首切り、失業の暗い谷間から抜け出そうとする労働者の欲求の高まりとともに、一面、歴史的にみて企業別労働組合のもつ弱点(終身雇用・年功序列型賃金・企業内厚生など)からの克服が問われることとなった。

すなわち、企業から独立した労働者福祉、組合員自身の手による助け合い制度として活動を推進するとともに、年金・医療など社会保障制度の要

求を包括して取組む体制の確立が必要との論議がおこり、労働四団体(県評、同盟、新産別、中立)と事業団体(労金、労済、労生協、住宅生協)によって一九六四年十一月、静岡県労働者福祉協議会が結成された。この結成の特徴は「労働者福祉事業だけはイデオロギーを乗り越えてやっていこう」との労働四団体の合意・参加と、地区労福協の結成に精力的に取り組んだことである。

(結成時、二七地区)

〈次号につづく〉

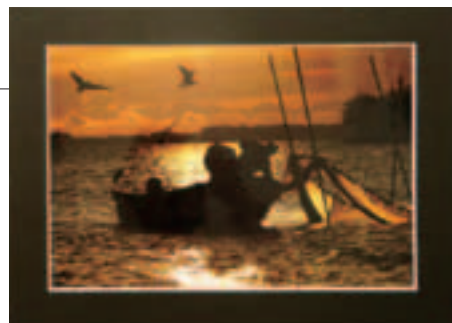


藤田克己氏



野田 一 様◆朝の漁場

偶然に出会った瞬間、浜名湖のしらすうなぎ漁は見慣れた光景でしたが早朝朝陽に輝く様子を見たのは初めて、ウォーキング中だったので後日、日の出と同時に現地に朝陽の中に漁船の入る位置を探し海が、網が光り老夫婦と鳥がシルエットに・・・真にシャッターチャンス!狙いどりの1枚に満足。少し、視点変えると感動がある事実感じました。



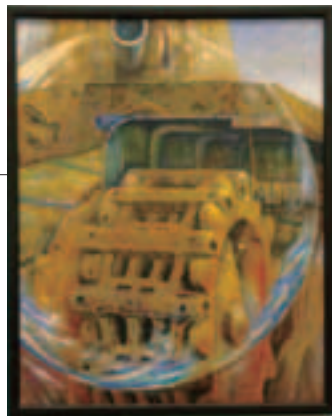
増田 恵豊 様◆古今和歌集

この度は、県知事賞という素晴らしい賞をいただき大変光栄に思っております。かなの表現は、歌選びから始まりかな特有の流れと、字形や行間、墨の濃淡等起承転結を心得て書く事で調和の取れた作品に繋がるという教えを常に持ち日々作品を書いています。これからも美しい作品、調和の取れた作品が書けるよう、日々精進していきたいと思ひます。



鈴木 惇介 様◆サイパンからの帰還

昨年CG部門で奨励賞を受賞し、本年は金賞を頂きました。自分の趣味の絵画が少しずつでも進歩していると評価され大変うれしく元気が湧いてきます。このモチーフは戦後30年間サイパン島の土深く埋もれていた九七式中戦車で無数の弾痕は戦争の激しさを訴え、満身の赤錆は戦いの空しさを語り、平和の尊さを教えていると感じ描きました。



佐藤 和代 様◆コーヒープレイク

この10年余り出品させてもらっていますが、今回の作品は21客のコーヒークップにすべて違う古布を使いキルティングもそれぞれ変えています。評価されたことは大変光栄で大きな自信につながります。これからもこのような発表の場を与えて頂いたことに感謝し楽しく続けていきたいと思ひます。この度は本当にありがとうございました。



今年も感動を ありがとう



第62回

静岡県勤労者総合美術展

第62回静岡県勤労者総合美術展が4月11日から4月15日の5日間にわたりグランシップ展示ギャラリーで開催されました。今回は、県下各地から257点の出品をいただき、期間中の入場者は500名を超え盛況の内に開会しました。多くの自治体広報誌やNHKでも作品募集をお知らせいただいたこともあり出品数・入場者数とも昨年比で増加となりました。特別賞・特選に12点、奨励賞27点など、開催期間中に訪れた皆さんに大きな感動を与えてくれました。ありがとうございました。

絵画審査を担当いただいた吉野勝彦先生からは「全体に自分の想いを表現しようとしている作品が多く、その作画態度に感心しました。」また、写真の柴山健一先生からは、「プリントサイズによる作品の見栄えに違いがあります。特に風景写真では大きいサイズでスケール感を強く出したいと思ひます。」書の藤田雲海先生からは、「初めて審査をさせていただきましたが、残念なことに書道の出品点数が少なかった。優劣の差は極めて僅差で頭を悩ませました。」また、手工芸の宮崎昌子先生からは「一步会場に入るなり、楽しく見入ってしまいました。忙しいお仕事の間、愛情を込めてそれぞれ作られていらつしやるのが、よく解ります。」とのご講評をいただきました。

この催しは、勤労者が芸術に親しみ心の豊かさを養い育てることを目的に静岡県から県労福協が委託され毎年開催しています。今回、応募いただいた方の年齢や経験度合も幅広く、絵画・写真・書・手工芸などの部門も様々です。今回の開催については12月に静岡県労福協ホームページにも募集要項を掲載します。より多くの勤労者の方々に応募いただき展覧会を盛り上げていただきたいと思います。



第62回 静岡県勤労者総合美術展 金賞・銀賞受賞者(敬称略)

勤労者美術展大賞	野田 一	写 真	朝の漁場
県知事賞	増田 恵豊	書	古今和歌集
静岡市長賞	鈴木 惇介	絵 画	サイパンからの帰還
特選 労福協理事長賞	佐藤 和代	手工芸	コーヒープレイク
// 連合静岡会長賞	山田 弘司	絵 画	「春よ来い」
// 労働金庫理事長賞	石井 淳	写 真	街一無音
// 全労済県本部長賞	岡本 雪江	絵 画	鎮魂歌
// 福祉基金協会理事長賞	石井 妙子	絵 画	結束力
// 勤労者信用基金協会理事長賞	増田 雅昭	書	山鳩はき鳴きどよもす日ねもすを…
// 年金福祉協会理事長賞	鷲巢 茂	写 真	初孫
// 県生協連会長賞	岩邊 禎彦	手工芸	夫婦竜
// ユニオントラベル賞	高橋 敬治	絵 画	西伊豆風景



ろうきんグリーン友の会 県連絡会 第31回 総会開催

挨拶する
岡村宏枝会長

ろうきんグリーン友の会県連絡会は、去る5月23日、静岡労政会館5F展示室にて県労福協平野理事長、労働金庫加藤理事長、全労済佐竹本部長をお招きし、第31回総会を開催しました。

岡村会長は、あいさつの中で昨年の東日本大震災にふれ、県連絡会総会や各地区総会において会員の皆様からたくさんの義捐金をいただきましたことへの御礼を述べられました。そして参加した皆さんに「これで終わることなく、どんな形でも良いので引き続きの支援をしていきましょう」と呼びかけました。

2011年度の活動報告では、県退福協と共にライフサポートセンター友の会に団体加入をしたことをはじめ、行事補助金を利用して、県主催ブロック観劇ツアー・日帰り旅行の実施、ボランティア活動として、手作りの防災頭巾や座布団・せっけん・のれんに加え、会員から集めたタオルを福祉施設等に寄贈、ペットボトルのキャップを社会福祉協議会に寄贈等の報告がされました。

2012年度の活動方針では、地区による会員数の格差や地域性を鑑み、活動の範囲を地区からよりブロックや県に置くことを検討していくこと。行事補助金を利用して観劇ツアーや日帰りツアーを実施していくこと等が提案され了承されました。



退福協 第32回 総会開催

挨拶する
蒔田延行会長

6月6日(水)静岡労政会館5F展示室にて県労福協・平野理事長、連合静岡・吉岡会長、労働金庫・加藤理事長、全労済・佐竹本部長、県高退連・藤田会長、ろうきんグリーン友の会・岡村会長をお招きし、第32回総会を開催しました。

退福協は、「退職後もろうきんとの継続取引を」を目的に結成された会です。しかし、年金受給開始年齢の後退により、定年後も働く人が多い上に高齢化による退会者に歯止めがかからず、会員数の伸び悩みが数年来の課題となっています。各地区退福協とも、活動をより魅力的なものにして、会員拡大に向けてアピールを積極的に進めていく事が確認されました。

昨年11月ろうきんグリーン友の会と共にライフサポートセンター友の会の会員の中から、退福協のモットーとする「生き甲斐づくり・健康づくりは自らの手で」を共感していただける仲間を誘い、その仲間と共に行事補助金を有効活用し、日帰り旅行やグラウンドゴルフなど楽しんでいきたいと思ひます。



労福協って なあに？ 25



静岡ろうきん 第60回通常総会開催 全ての議案を満場一致で承認!! ～中期計画「飛躍(ひやく)」～



挨拶する加藤理事長

総会会場の様子



静岡ろうきんは2012年6月26日(火)静岡市葵区紺屋町のグランディエールブuketーカイで記念すべき第60回の通常総会を開催しました。総会の冒頭、加藤理事長から①東日本大震災の復興支援の取り組みを行ってきた。全国労金の一本化が延期された。次世代システムへの移行作業に取り組んでいる。②「7つの仕組み」づくりによる事業推進を図った。③出資配当利率を4%から3%へ引き下げる。④地域役立資金の残り9億円を積み上げる。⑤相談拠点(ローンセンター)が10カ所になった。⑥国際協同組合年、ILO調査で労働金庫は高い評価を受けた。金庫は創立60周年を迎えるが、多くの方々のこれまでの熱意を評価したい。運動と事業を高める為、更に健全、安心を目指したい。との挨拶がありました。

議案討議では第2号議案の利用配当金を『ろうきん地域役立資金』に振替拠出する件、第3号議案中期計画および2012年度事業計画に関する件などの提案に代議員から多くの前向きな意見・要望が出されました。金庫役員からは丁寧な回答がされ、第1号議案から第7号議案まで＜満場一致＞で承認がされました。

満場一致で可決



中期計画「飛躍(ひやく)」(ひやく)を掲げ静岡ろうきんの2012年度事業計画が始動しました。厳しい環境が続いていますが、静岡ろうきん役職員のみなさん、どうかこの1年も働く人々への力強いサポートをお願いします。

尚、総会終了後、県労福協と福祉基金協会より「地域役立資金」の現況報告が行われました。

湖西地区労働者福祉協議会
静岡県湖西市鷺津1272番地の10 桐屋ビル1階
〒431-0431 電話053-576-2002 FAX053-576-2007
会長 河邊 洋充(かわべ よしみつ)
出身団体:スズキ労働組合 湖西支部
出身団体役職名 支部長



2012年4月5日(木) 湖西地区労福協の事務所がオープン

念願の湖西地区労福協・連合静岡湖西地協合同事務所が4月にオープンいたしました。湖西市鷺津駅より徒歩で2分程度の駅前通りに面し、駅から近い好立地の「誰もが気軽に訪れたい」場所ができました。

以前の湖西地区労福協事務所は、会員単組の労働会館の二部を間借りしていましたが、諸事情等々で使用困難になり、一昨年から事務所として使える場所を探して参りました。多くの関係皆様のご尽力のおかげでこの場所に辿り着くことができました。誠にありがとうございます。この場をお借りし感謝申し上げます。

さて、合同事務所の名称は親しみやすい柔らかいイメージの「レコロ」と称しました。名称の由来は、連合の「レ」湖西の「コ」労福協の「ロ」です。

湖西地区は、自動車関連会社が多くあり、昨年の東日本大震災によりサプライヤーチェーンが寸断され、多くの企業は、操業停止に追い込まれました。が、予想以上の速さで生産能力を回復させ、昨年の夏以降は減産分を挽回するために休日出勤やフル残業で乗り切ってきました。しかし、歴史的な円高の長期化と欧米の財政難で、層 厳しい状況が続いています。

私たち労働者が、この厳しい状況を乗り越えるために、この新しい拠点を退福協やグリーン友の会と連携しながら「地域に根ざした顔の見える活動」を主軸にし、労働者とその家族が「安全で安心して暮らせる社会作り」を支援し活動して行きたいと思っています。



念願の湖西地区労福協・連合静岡湖西地協合同事務所が4月にオープンいたしました。湖西市鷺津駅より徒歩で2分程度の駅前通りに面し、駅から近い好立地の「誰もが気軽に訪れたい」場所ができました。

■IYC植樹活動



2012国際協同組合年 記念植樹を実施



5月12日(土)富士山の山麓で、70名が参加して国際協同組合年の記念植樹を行いました。この植樹は、国際協同組合年静岡県実行委員会が主催し、特に静岡県森林組合連合会が事務局の中心となり土地所有者の(社)玉穂報徳会等のご協力を得て実施の運びとなりました。

県実行委員会構成団体の県生協連(全労済含)、労働金庫、県労福協(富士地区・富士宮地区含)からも計24名が参加しました。

開会式では、静岡県森林組合連合会代表理事会長の榛村純一氏と玉穂報徳会副理事長の勝又正敏氏から挨拶等がありました。

天気も恵まれ、会場の富士宮市北山のヒノキ森の中には、事務局で下草刈りや囲い網などが整った会場(約300坪)で、「クヌギ・コナラ」の苗木250本を植樹し、各自で用意した水やりも行いました。会場入り口にはヒノキ材でつくった看板ポールも建て、共に汗した皆さん全員で記念写真を撮りました。

作業終了後には、ドイツ製の大型林業機械の実演や住宅建材としての木の特性などの話をいただき解散となりました。山に森があってこそ平地で安全・安心の暮らしを営むことができると、改めて気づいた良い機会でした。



絵本・玩具を ふれあい交流室に 贈呈しました!



サンワエルぬま
づ内のふれあい
交流室へ乳幼児
用絵本と玩具を
寄贈しました。
3月6日(火)

の寄贈式には沼津地区労福協の山本会長と森事務局長が出席し、沼津市社会福祉協議会の日高会長へ絵本と玩具を手渡ししました。

当日は、ふれあい交流室を利用している親子も同席した場で行われ、終了後には保育士による絵本の読み聞かせが行われました。子供たちは早速新しい絵本を手にした。

玩具で楽しそうに遊んでいました。

沼津地区労福協の絵本・玩具の寄贈は、子育て支援活動の一環として2008年度より行っています。交流室内では沼津地区労福協から寄贈された様子や寄贈された絵本を利用する子供達を紹介するポスターが掲示されていました。

ふれあい交流室はサンワエルぬまづ内5階にあり、乳幼児が遊んでいる姿を見守りながら親同士が交流をふかめ、子育てについて話し合う場として活用されています。利用者には沼津市民を始め近隣市町からも多くの方々が訪れ、日平均70人くらいが利用されているそうです。

富士宮地区富士宮地区労福協合同企画 がんばろう東北! うまいもの市



5月12日・13日の2日間、ろうきんふもと会の住宅フェアイベント会場である「ふじさんめつせ」で富士地区・富士宮地区合同チャリティバザー「がんばろう東北うまいもの市」を開催しました。

300以上用意した商品は完売し、うまいもの市の売り上げは2日間で290,400円でした。

また、隣のブースには両地区の若年層で構成される富士地区労福協「SHIPS」富士宮地区労福協「若者の会」も昨年同様、綿菓子や障害者福祉施設のクッキー販売、射的やヨーヨーすくい等、こちらも小さな子供達が本当に楽しんでいた。

また、隣のブースには両地区の若年層で構成される富士地区労福協「SHIPS」富士宮地区労福協「若者の会」も昨年同様、綿菓子や障害者福祉施設のクッキー販売、射的やヨーヨーすくい等、こちらも小さな子供達が本当に楽しんでいた。

昨年の10月開催と同様、東日本大震災で被災された方々への支援活動を継続していく意味で今年度もバザーを企画しました。東北地方の物産品を仕入れて販売することで売り上げに貢献する形の支援活動となります。

東北地方の復興を願い、今後とも両地区労福協で連携をしながら、社会貢献活動を続けていきたいと思っています。(富田)

前回の販売経験を活かして、売れ筋の日本酒やお菓子、漬物等を多数用意し、ブースは大賑わいでした。

両地区労福協で連携をしながら、社会貢献活動を続けていきたいと思っています。(富田)

記念ミュージカル おもいで ぼろぼろ上演!

国際協同組合年静岡実行委員会は、協同組合の価値や役割等を広く静岡県民に呼びかけ、その存在を今以上に認知がされるよう、これまでに開幕記念講演会や植樹活動などを実施してきました。今回は、劇団わらび座によるミュージカル「おもいでぼろぼろ」公演です。農村文化の伝承と自然とのふれあいをテーマとした演劇で“協同の心”も共感できると好評です。是非、ご家族お友達とお楽しみください。

日時／平成24年8月24日(金)
開場／14:30 開演／15:00
会場／静岡市民文化会館中ホール
お問合せ／静岡県農業協同組合中央会
TEL.050-3101-3942



読者のページ

■従業員の組合離れが言われて久しい。東日本大震災を契機に災害ボランティア、防災力の強化など組合でしかできないことを実施して組合の益々の発展を期待します。
富士市 佐野 克芳 様

■昨年の9月より組合役員を務めることになりましたが、右も左もわからない中、今回、先輩の役員から労福協だよりを渡され、地元の記事も掲載されているから読むように言われました。まだまだ、わからない事ばかりですが頑張っていきたいと思います。
磐田市 金原 直史 様

■マネートラブル減らない昨今、同居している年老いた父母や息子にも気をつけるよう常日頃言っています。段々と手口が巧妙になり他人事ではなくなっているのが恐ろしいです。
富士市 村松 秀美 様

■労福協だより3.11災害特別号を見て、火災共済+自然災害共済への加入の必要性を感じました。静岡県でも昨年の台風15号による被害が沢山ありました。私の家は幸いにも被害がありませんでしたが、職場では自宅に被害があったり共済で保障されたという話を多く聞きました。
袋井市 永田 政己 様

■2歳7か月の孫に毎日追われていますが、この子達が明るく過ごせる未来を望みます。少子化、不況、震災、就職難、増税、年金問題と明るい話題が少なく不安のつる世の中。少しでも明るい未来が見えればと祈るばかりです。
富士市 長谷川 和代 様

あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!

事務局員紹介 富士宮

(富士宮地区労福協担当)



氏名／**田中 恵理**
血液型／**A 型**
趣味／**ショッピング**

5歳幼稚園年長の娘が一人います。今一番の楽しみは、先日ずっと欲しかったオープンレンジを購入したので、娘と一緒に菓子を作ることです。娘は今、卵をわることにはまっています。4月に事務局員になったばかりで、不慣れでまだまだわからないことが多いですが、皆さんにご迷惑をかけないように頑張りたいと思います。これからもご指導の程よろしくお願い致します。

あなたも

2,000円をゲットしよう!

ホームページからの応募も可能です

- (1) 本年6月12日の県労福協定期総会は第何回の総会だったでしょうか?
A. 36回 B. 42回 C. 50回
- (2) 今年のプロ野球セ・パ交流戦、優勝チームはどこでしょうか?
A. 楽天 B. ソフトバンク C. 巨人
- (3) 2012年国際協同組合年の記念植樹で植えた樹木は何でしょうか?
A. クヌギ・コナラ B. 茨城・栃木 C. 勇氣・根気

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締 切 日 2012年8月31日(金)まで [消印有効]
■記載項目 ①お名前 ②電話番号 ③郵便番号と住所 ④クイズの答 ⑤メッセージ

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
県労福協「だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。

クイズ 前回の答え

- (1) A: 2012年
- (2) B: 17文字
- (3) C: グランシップ

当選者

- | | |
|---------|----------|
| ○浜松市中央区 | 犬塚 博之 様 |
| ○磐田市 | 大庭 砂裕美 様 |
| ○富士市 | 米山 博貴 様 |
| ○磐田市 | 森川 良枝 様 |
| ○藤枝市 | 安倍 洋子 様 |

応募総数60通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方が当選されました。おめでとうございます。

労福協のホームページ

*クイズの応募やご意見等の投稿ができます

検索サイトはこちらから

静岡県労福協 検索

労福協のブログ

*営業日は毎日アップしています。(写真好評中)

検索サイトはこちらから

こちら黒金町 検索

つもる話は
アフター
ファイブに。

仕事帰りにサクッと
夕方チャンス。

〈ろうきん〉全店OPEN!
水曜よりみち相談会
17:00~19:00
毎週水曜日 夕方
予約優先^{※1}

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

ローンのこと、お金のこと。
ご相談内容がひろがりました。
住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託のご相談もお取り扱いします。
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。
※個人向け国債、投資信託のご相談は予約制となります。

働く人に便利な2つの「相談会」が、
ますます利用しやすくなりました。

日曜のんびり相談会
9:00~12:00 13:00~16:00
毎週日曜日 予約制

県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。
3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
お客様の声にお応えて土曜日も相談会を開催。
土曜日開催店
◎浜松中央ローンセンター
◎静岡中央ローンセンター
◎富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。※いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

〈ろうきん〉が
初めての方も大歓迎。
ぜひお近くの
〈ろうきん〉へ。

お近くの(ろうきん)はこちらから!

モバイル版に
アクセス!

いつでもあなたの目線。
静岡ろうきん

お問い合わせ
ご予約は
0120-609-123
インターネットホームページ
http://shizuoka.rokin.or.jp

ビボバ de ろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00

たすけあう キモチつなぐ 55 周年



安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・終身生命共済・個人長期生命共済



2012年5月新登場!!

傷害安心タイプ

シニア傷害安心タイプ

シニア医療タイプ

全労済静岡県本部は、2012年6月10日をもって創立55周年を迎えました。

今後とも組合員の皆さまの生活を守るため、安心と安全の保障をお届けして行きます。



責任品質。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

——暮らしをトータルに見守る多彩な共済——

<http://www.zenrosai.coop/shizuoka>

全労済静岡県本部

静岡県労働者共済生活協同組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-1180

東部支所(共済ショップ沼津店) 〒410-0046 沼津市米山町11-24 ☎055-923-1755

中部支所(共済ショップ静岡店) 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-3312

西部支所(共済ショップ浜松店) 〒430-0929 浜松市中区中央3-15-37 ☎053-453-5888



2012 国際協同組合年